

# 一般質問の概要

令和2年第2回 二宮町議会定例会

〇6月11日（木）午前9時30分～

（前田憲一郎、羽根かほる、二宮節子、小笠原陶子 各議員）

〇6月12日（金）午前9時30分～

（渡辺訓任、大沼英樹、松崎健 各議員）

※両日とも2番目以降の質問開始時刻は、直前の質問終了後となりますので、不確定です。

※今回、感染症対策のため、議員の質問時間は件数に関わらず30分です。ただし町執行部側の答弁時間を含みません。

No	質問予定議員	質問概要
1	前田憲一郎 議員	<p><b>児童生徒の安全安心な学校教育について問う</b> （放映件名：児童生徒の安全安心な学校教育について問う）</p> <p>WHOがパンデミック宣言を発令するなど、世界中に新型コロナウイルス感染が起こった。日本国内でも多数の感染者が発生、著名人も含め多数の方がお亡くなりになり、二宮町でも5人の感染者が出た。4月7日には1都7県に緊急事態宣言が発令され、4月16日には全国的に発令され、通常の生活ができず、苦しい我慢の生活を強いられた。新型コロナウイルス感染は収束しつつあると思われるが、第2波が気にかかる場所である。本年3月より小中学校は休校となり、6月1日より段階的に再開されたものの、卒業生にとり嬉しくも悲しくもある卒業式、新1年生にとっては、これから新たに始まる小中学校生活に対する不安と期待に胸を膨らませわくわく感を持った入学式は、感染予防の観点から簡素化され寂しい式になってしまった。3か月もの学校生活の遅れを児童生徒達は取り戻すことができるのか。4月に立ち上げたばかりの学校ホームページを活用し、PTA会長らが中心となり動画を配信した学校もあった。町は休校中にどのような手立てを構築し、対応してきたのか。今後、他の自治体の児童生徒に劣らないような手立てで後れを取り戻していくのか。本年度から小学校ではプログラミング教育が必修となったが環境は整っているのか。また、学校統合再配置、小中一貫教育校計画、コミュニティスクールはどのように進めていくのか。危惧する場所である。本年1月30日町内の路上で集団登校中の児童の列に30代の男性が割り込んで女兒の体を触り逃走するという事件が起こった。文部科学省は、昨年川崎市で起こった登校中の児童たちを襲った無差別殺傷事件をもとに、このような悲劇を繰り返さないために、学校防犯の専門員で、退職警察官や教職員OBなどが担っているスクールガードリーダーを各自治体2名配置を進めている。1月の事件を繰り返さないために登下校時の安全安心も重要である。そこで、次の要旨についてお答えいただきたい。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 3か月にもわたった休校中、児童生徒に対しどのような対応をしてきたのか。</li> <li>2. 6月より段階的に学校が再開されたが、授業の遅れ等についてどのようにカリキュラムに対応していくのか。</li> <li>3. 小学校で本年度より必修となったプログラミング教育に対しどのようにしていくのか。</li> <li>4. コミュニティスクールをどのように運営していくのか。</li> <li>5. 今後、学校再配置、小中一貫教育校計画をどのように進めていくのか。</li> <li>6. 児童生徒の登下校時の安全安心についてどのような策を講じているのか。</li> </ol>

2	羽根かほる 議員	<p><b>新型コロナウイルス感染症への対策と予算について</b>  <b>(放映件名：新型コロナウイルスへの対策と予算について)</b></p> <p>新型コロナウイルス感染症の拡大は、町民の暮らしを変え、心身ともに苦しい時期が続いている。国、県の対策はもとより、町独自の支援策を早期に実施することを議会からも要望をし、関連予算に対する臨時会の開催、実施という流れは実行できた。しかし、これは緊急の対策であり、引き続き、悪化が想定される中小企業、商店の経営状況を把握した上での支援や、教育の場においても休校期間は数か月に及び、この期間の学力維持の対策を行っていく必要がある。また、この期間を踏まえた今後の小中一貫教育校設置計画はどのように進んでいくのか。災害とも言える状況の中、町民にとって必要な支援とは何か、第一段階の支援策の内容と予算は的確であるのか。町民生活の現実を的確に、また、細やかに見つめ直し、現在、必要な支援を実施すること、また、今後の各支援内容と進めてきた事業計画、対策への予算の方向性を明確に町民に示すことが必要と考え、以下の質問をする。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 中小企業、個人商店、個人事業の経営状況の把握と支援策は的確か。また、今後の方向性は。</li> <li>2. 休校中の授業の遅れに対する補完策と今後の小中一貫教育校設置計画の方向性は。</li> <li>3. 新型コロナウイルス感染症への対策に対する予算は的確か。また、今後の財政の方向性は。</li> </ol>
3	二宮節子 議員	<p><b>妊娠期から乳幼児期の新たなる対応について</b>  <b>(放映件名：妊娠期から乳幼児期の新たなる対応について)</b></p> <p>新型コロナウイルス感染症のワクチンや治療薬がない中、少しずつ経済活動をしていくために、テレワークの充実やオンラインによる新卒採用など、新しい動きが進められる分野もありますが、足元を見れば日常生活は不安がまだまだ続いています。その不安の中、二宮町の母子手帳の発行件数は40件あり、少子化時代に大切な未来を創る命に対して、子育てを重要視する二宮町には、経済面や精神面で、下記内容が必要と考え質問いたします。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 妊娠期に新たなる相談体制やマタニティー教室のコロナ対策</li> <li>2. 産前産後の国民年金免除の周知</li> <li>3. 「働く妊婦・事業主宛ての新型コロナウイルス感染症に関する母性健康管理」の周知</li> <li>4. コロナ収束までの妊婦特別給付金の考え</li> <li>5. 母子保健に関する、平成28年の施策評価への対応</li> <li>6. 乳幼児健康診査の新たな連絡方法と今後の実施方法について</li> </ol>

4	小笠原陶子 議員	<p><b>新型コロナウイルスに伴う「新しい生活様式」を踏まえた地域福祉について (放映件名：「新しい生活様式」を踏まえた地域福祉とは)</b></p> <p>町では、二宮町高齢者保健福祉計画及び第7期介護保険福祉計画に基づいて、福祉施策の推進を図っています。基本目標の1に地域包括ケアシステムの推進を掲げ、施策の充実を図り実施してきました。また、重点的な取り組みとして、「地域の通いの場を通じた活動の展開」を進め、多方面と連携し最も重要な地域資源と位置づけています。</p> <p>しかし、新型コロナウイルスの影響で、通いの場は3月から閉鎖されたままです。</p> <p>町全体では多くの高齢者の体力低下と心のケアが懸念されています。</p> <p>そこで、この緊急自粛宣言中の地域福祉の充実について伺うとともに、自粛解除後の「新しい生活様式」を踏まえての今後の事業展開について伺います。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 地域のお年寄りを見守るのは、民生委員の存在が大きい。見守り体制はどのようになっているのか。また、この間、各地区社協はほとんど活動できていないが、二宮町社協は貸付業務など多忙だったと思うが、相談業務など活動実態はどうだったのか確認したい。</li> <li>2. 「通いの場」をオープンするための、「通いの場×新型コロナウイルス対策ガイド」が新しい生活様式のマニュアルとして、厚生労働省の「新しい生活様式」をふまえ関係専門団体から出ている。それに沿って運営していくには、ボランティアである役員の負担は大きい。どのように理解をいただいて進めていくのか。</li> <li>3. ボランティアでやれるところの限界がある中、専門家による事業の実施が望まれる。高齢者の体力の維持または低下予防に対し、適切なアドバイスができる保健師やプロの健康運動指導士の派遣をして欲しい。それをきっかけとして、地域のお年寄りの現状や問題点が明確になり、次の動きへスムーズにつなげていかれると考えるがどうか。</li> </ol>
5	渡辺訓任 議員 (2件)	<p><b>新型コロナ対策と町事業への影響について (放映件名：新型コロナ対策と町事業への影響について)</b></p> <p>第2期二宮町総合戦略の初年度にもあたる本年度、新庁舎整備事業、東大果樹園跡地活用、小中一貫教育校設置・ICT教育推進事業、加えてラディアン開館20周年事業などの諸事業を計画・予算化した。しかしながら、新型コロナウイルス感染症に対する対応で3月以降、町の各課は対応に追われ、感染防止の観点から町民を交えた諸会議の開催も中止・延期などでままならない状況であると認識している。</p> <p>新型コロナ感染症は町民のいのち・くらしを直撃するもので、対策は最優先されるべきである。一方で、町事業の滞りは後年の町民のくらしに影響する。新型コロナ対策が諸事業の進捗に及ぼす影響と今後の対応を問う。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 新庁舎整備事業では、基本計画策定へ向けての町民ワークショップを計画している。5月下旬に、参加希望を締め切ったが、その状況と今後の予定はどうするのか。</li> <li>2. 東大果樹園跡地利用についての事業の検討・推進について、現在の状況と見通しは。</li> <li>3. その他、年度内の進捗に問題がある事業はあるのか。</li> <li>4. コロナ感染対策による町民の収入の減少や対策費の支出の町財政に対する</li> </ol>

		<p>影響をどのように見込んでいるか。</p> <p>5. いのち・暮らしを支えるために重要な事業（新庁舎整備、地域集会施設・学校・消防など諸施設の耐震性などの調査、橋りょう長寿命化計画策定など）を確実にすすめる一方、急ぐことのない事業は見直しを求めたいがいかがか。</p> <p style="text-align: right;">以上</p>
		<p><b>複合災害への対応・防災訓練の実施について</b>  <b>（放映件名：複合災害への対応・防災訓練の実施について）</b></p> <p>今回のコロナ禍の中、避難に至らないまでも各地で地震が発生をしている。その都度、避難所が開設された場合の対応について心配された方も多かったようである。すでに6月となり、台風や大雨による避難が起こりうる季節に入った。震災や大雨、さらに感染症発生が同時に起こる場合の対応、また、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため防災訓練が遅れていることについての対応を以下のように問う。</p> <p>1. 震災・大雨による避難所開設に際して、終息宣言が出ていない限り新型コロナウイルス感染症に対する対策が必要と判断されるのか。その際の措置について、特に避難所運営についてどのような点を考えているか。</p> <p>2. コロナ感染防止のため、避難所運営の机上訓練が延期されたが、防災訓練も含めて今後の計画は。</p> <p style="text-align: right;">以上</p>
6	大沼英樹 議員	<p><b>度々発生した不祥事対応とコロナ禍による事業運営は適切か</b>  <b>（放映件名：町を預かる責任と今後の施策を問う）</b></p> <p>ここ数年に発生した不祥事の内容は様々ながら、頻発することに多くの疑問を感じる。新聞報道に大きく取り上げられるような不祥事がどのような影響を生み、その後続く結果をどの様に捉えているのか、そして中長期にわたり策定された施策からなる年度事業に対し全国各地で大災害をもたらした昨年の風雨災害があり、加えて今回のウイルス被害がある。これらの事象を踏まえ現実に則した臨機応変な対応が不可欠だと感じるが現二宮町行政としての意識と今後の対応を以下に問う。</p> <p>1. 不祥事発生後、再発防止対応策はどのように取られたか、不祥事が二宮町に与える影響をどの様に認識しているか。</p> <p>2. 不祥事を未然に防ぐ為、抜本的な責任意識と体質改善が必要と考えるがいかがか。</p> <p>3. 令和2年度予算資料の中で重点施策として掲げられた・地域集会施設の耐震対策・役場新庁舎整備・ラディアン長寿命化計画事業に対するコロナ禍の影響と計画の方向性はいかがか。</p> <p style="text-align: right;">以上</p>

7	松崎健 議員	<p><b>新型コロナ禍に対する町の対策は</b> <b>(放映件名：新型コロナ禍に対する町の対策は)</b></p> <p>新型コロナ禍に関しましては、通告の時点で緊急事態宣言が解除されたとはいえ、未だ先行きが見えず、今もその状況は予断を許しません。</p> <p>町は5月4日の新聞折り込みで「二宮町からのお知らせ」と題した緊急対策を町民に発信しました。「町民の皆様の生命と健康を守ることを最優先に、社会経済活動を維持し、生活環境を保持するための施策に、総力をあげて取り組む。」としていますが、施策は全町民27,583人(5月1日現在)の一人一人に「漏らすことなく」行き渡らせなくてはなりません。そのうえで、私自身も町民からの聞き取りを行った結果等を踏まえ、町の緊急対策ではカバーしきれていないと思われた項目、とりわけ喫緊である中小企業・個人経営者への対策を軸に取りまとめ対策を講ずるよう、5月11日付けで町長に要望書第1弾を提出しました。要望書は回答を求める形にはなっていませんでしたので、本一般質問において回答を求めます。</p> <p>なお、状況は刻々と変化し、要望書提出後、ある程度の対応がなされている項目もあることは承知しています。一方、新たな問題も発生しており、今後も発生することでしょう。これらにつきましても「漏らすことなく」対策を講じて頂くことを要望します。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 開業から日が浅い事が理由で、持続化給付金の給付対象外の中小企業・個人事業者に町から給付を行って頂きたいがいかがか。</li> <li>2. 住宅ローンを借り入れて経営している中小企業・個人経営者で新型コロナ禍が原因でローン返済が困難となった経営者に対し、かなりの配慮を伴った債務整理制度の創設を行って頂きたいがいかがか。</li> <li>3. 国、県、町から夫々出されている支援策を一度に確認できるようにまとめ、HPでの公表のほかチラシを作成し配布して頂きたいがいかがか。</li> <li>4. 町が作成・配布した「新型コロナウイルス感染症に対する緊急対策」は支援を必要とする町民に必ずしも周知されていない。「漏らすことなく」周知して頂きたいがいかがか。</li> <li>5. 町内在住の医療従事者への「感謝」並びに医療従事者に対する「偏見・差別への警鐘」を込めた、町長からの強いメッセージを発信して頂きたいがいかがか。</li> </ol>
---	-----------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------